

謹賀新年



議会活性化を
目指して
合志市議会議長 吉永 健司



「健康都市こうし」の
実現を目指して
合志市長 荒木 義行

市

民の皆さま、明けましておめでどうございませう。年頭にあたり謹んでごあいさつ申し上げます。旧年中は市政各般にわたりご理解とご協力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

さて昨年は、熊本地震からの復旧・復興を最重要課題と位置付け、被災者の生活再建支援を第一に市政運営に取り組んでまいりました。昨年3月には「合志市復興まちづくり計画」を策定し市民の皆さま

新

年、明けましておめでどうございませう。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。また、日頃から市議会に対し、温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。熊本地震からの復興は道半ばではありますが、「合志市復興まちづくり計画」に基づく復興事業にスピード感を持って取り組んでいるところであり、本年3月には避難

とともに復興への歩みを進めてきたところです。主な取り組みとして、国や県などに対し復旧・復興に係る支援や財源措置について強く要望するとともに、合志庁舎への統合に合わせた防災拠点機能を持つ増築庁舎や、野々島公民館の建て替えに合わせた防災拠点整備に取り組んでいます。また、本市のシンボルとも言える総合センターヴィーブルは、本年4月の復旧オープンを目指し、工事を進めているところです。

新たに迎えた平成30年（2018年）は、明治元年（1868年）から起算して満150年に当たります。昨年は、明治25年に合志郡西合志村黒松に教育の機会に恵まれない農村子弟のために設立された私塾「合志義塾」を描いたドキュメンタリードラマを制作放送し、本市の偉人を後世に伝えるとともに合志市の魅力を発信したところです。特に平成30年度は、関係各位のご協力により熊本北合志警察署の開署や竹迫土地画整理事業区域内の商業施設などの開業、県

所、備蓄倉庫を備えた防災拠点として新たに、合志庁舎の増築棟および野々島市民センターが完成します。また、市議会では、復旧・復興の財源確保を国に求めるため、九州市議会議長会において「熊本地震被災団体に対する財源措置等」について提案を行ない、全会一致で承認をいただいたところです。本市では、「健康都市こうし」の実現はもとより、小中学校新設、御代志地区のまちづくり、公共施設の老朽化対策などの重要課題が山積しています。これらの課題を行政、市民、市議会が共有し、「協働のまちづくり」による施策の検討を行なう中で議会としての役割をしっかりと果たしてまいります。

一方、市議会では、予算決算常任委員会を新たに設置し議会のチェック機能を強化するとともに、災害発生時に、執行部と連携して被害の拡大防止や復旧に努めるため、災害対策支援本部設置要綱を制定し非常時の支援体制を整備しました。また、議会改革の一環として、

道大津植木線バイパスの一部開通、さらには北熊本スマートインターチェンジ（仮称）の工事完成などが予定されており、復興に向けた弾みとなるものと考えます。

本市には、誇るべき地域資源が多数あり、また今後交通アクセスも向上することが予想され、県の中核都市として大きな発展の可能性を秘めています。この伸び行く合志市をさらに伸ばすべくリーダーシップを発揮し、強い意思と行動力を持ちながら精神的に取り組みます。そして、本年も市民の皆さまが安心・安全に暮らし、次世代の子どもたちに胸を張って引き継ぐことのできる活力があるまち「健康都市こうし」の実現を目指し、精一杯まい進していきます。

結びに、本市にとりまして、本年が活気溢れる輝かしい年となることをお願いいたしますとともに、市民の皆さまにとつて、ご健勝と幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

早稲田大学マニフェスト研究所の中村健氏を講師に迎え、これまで2回（1月に3回目を開催予定）研修会を開催し、議会および議員個々の資質の向上に努めております。このほか、これからの合志市の未来を担う10代の皆さんが「市政、議会」に関心をもち、さらには参加していただきたいとの思いから、本年1月に市内3中学校の生徒と懇談会を企画しています。

議会は、議事機関として議案の審議・審査を行ない事務執行について監視し、政策の効果を適切に評価すると同時に政策提言の機能を果たさなければなりません。市民の皆さまの声を市政に反映させ、よりよい市政運営を実現するため、今後一層、研さんに努めてまいります。

本年も、市議会に対し、昨年にも増して温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとりまして実り多き一年となりますことを心より祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。